

# 陸前高田復興支援説明会

若きリーダーが語る被災地のいま、そしてこれから

支援要請団体

P@CT/SAVE TAKATA/まゐむたかた/  
陸前たがだ八起プロジェクト

2013 9月27日(金)

19:00～21:00(受付 18:30～)

文京シビックセンター 26F「スカイホール」

定員:90人(先着順) 資料代:1,000円 お申込み先:[pact.tokyo@rt-station311.org](mailto:pact.tokyo@rt-station311.org)



東日本大震災から2年半。あの日、突然故郷を奪われた人々が、被災地で日々奮闘を続けています。  
あの日から変わったことは何なのか、変わらないことは何なのか…そして、私たちに何ができるのか、何をすべきなのか…  
本説明会では、企業や支援関係者を対象に、いま必要とされている支援について、陸前高田出身の若きリーダーが語ります。

## プログラム

### 19:00～20:00 説明会

- ・「ボランティア活動と子ども支援」  
特定非営利活動法人 P@CT(パクト)
- ・「ITを駆使した支援」  
一般社団法人 SAVE TAKATA
- ・「女性が定住しやすい街を目指して」  
特定非営利活動法人 まあむたかた
- ・「仮設住宅における活動の現状と課題」  
特定非営利活動法人 陸前たがだ八起プロジェクト

### 20:00～21:00 交流会

※プログラムは、予告なしに変更される場合があります。



本会場にて同時開催！

『笑顔の力～from東北～写真展』

Supported by 笑顔プロジェクト

## 交通アクセス

文京シビックセンター26F「スカイホール」(東京都文京区春日1-16-21)  
東京メトロ「後樂園」駅・丸の内線(4a・5番出口)、南北線(5番出口)徒歩1分  
都営地下鉄「春日」駅三田線・大江戸線(文京シビックセンター連絡口)徒歩1分  
JR総武線「水道橋」駅(東口)徒歩9分  
TEL 03-3812-7111(文京区役所代表)

## 発表者プロフィール



萩原 史 (はぎわら ふみ)

P@CT 二又復興交流センター担当

陸前高田市出身。震災後、同市社会福祉協議会職員として災害ボランティアセンターの運営を担当。延べ12万人のボランティアを受け入れる。2013年5月よりP@CTが運営する「復興サポートステーション」統括。現在は、市からの委託でP@CTが運営する宿泊施設「二又復興交流センター」を担当。



佐々木 信秋 (ささき のぶあき)

SAVE TAKATA 代表理事

陸前高田市出身。2010年12月にWeb事業会社としてLLPを設立、2011年3月10日に創業パートナーと「明日からこれで飯を食うぞ！」と盛り上がっているところに震災に遭い、故郷が壊滅的な被害にあう。その後多くの方の助けの元、震災支援活動にあたり、気づいたら団体設立。



萩原 直子 (おぎわら なおこ)

まあむたかた 代表

陸前高田市出身。4人の息子をもつ働きママ。市役所の臨時職員、金融機関、市民活動団体を経て、現職。震災後、コミュニティーセンターや学童クラブの運営に携わりながら、支援団体に働く。2012年10月『まあむたかた』を設立し、地域のコミュニティ支援や生活再建支援、男女共同参画推進を主な活動としている。



蒲生 哲 (がもう さとる)

陸前たがだ八起プロジェクト 事務局長

陸前高田市出身。地元オートキャンプ場の元スタッフ。震災後、地元漁家、復興支援経験者などとともに、被災された方々主体の復興を支援するため、NPOを設立。モビリア仮設住宅において、見守り、サロン、自治会のサポートを行い、孤立防止と安全・安心に住める住民主体のコミュニティづくりに取り組む。

## お申込み方法

メールの件名を「説明会申込み」とし、お名前・ご所属を明記の上、下記宛にお送りください。

お申込み先アドレス: [pact.tokyo@rt-station311.org](mailto:pact.tokyo@rt-station311.org)

※資料代:1,000円(当日受付でお支払いください。)

お問い合わせ:P@CT事務局 TEL 0192-47-4977 岩手県陸前高田市気仙町字町23-1